

# 喜多浩一

き た こう いち

Vol.35 発行・喜多浩一

## 金沢市議会議員3期目も残り半年になり

平成31年4月に金沢市議会議員3期目の議席をいただいてから今年で4年目を迎え、残り任期も半年を切りました。今任期は期間のほとんどがコロナ禍であったこともあり、市民の皆さんと顔を合わせる機会が極端に少なく、以前のようにご意見やご要望などをあまりお聞きすることが出来ませんでした。残り期間は感染対策を十分にした上で、一人でも多くの方々とお会いし、意見交換などをしていきたいと考えています。

令和2年の初頭から猛威を振るってきた新型コロナウイルスは変異を繰り返しながら、依然として我々の生活に大きな影響を与えています。7月には日本全体の一日の感染者数が20万人を超え、石川県でも1000人を超える日が続きました。政府は経済への影響を考慮し、緊急事態宣言やまん防などの行動制限を行うことなく、ワクチン接種をはじめとする感染防止策を行うことで感染拡大を食い止める方針を取っています。これからも終息が見えるまで、我々一人一人が自覚を持った生活を送らなければなりません。

今年度からスタートした馳知事、村山市長という新しい首長のもと、緊張感を持った毎日を送っています。今後も市民の皆さんの負託に応えられるよう切磋琢磨し、素晴らしいふるさとを作っていくよう努力していきますので、皆様からの厳しくも温かいご指導ご支援をよろしくお願いいたします。

バックナンバーについては下記アドレスにてご覧になれます。

ぜひアクセスしてください。(喜多浩一)

<https://kita-koichi.com>



### 議会活動 PHOTO



①消防一斉放水

3年ぶりに金沢市消防団連合検閲が行われ、犀川緑地河川敷にて一斉放水が行われました。



②男女共同参画

県女性センターにて「男女共同参画のつどい」が、馳知事参加のもと、盛大に行われました。



③一般質問

3月、6月、9月、12月に開催される定例月議会では毎回一般質問の演壇に立っています。



④金沢市保健所(西念3丁目4-25)

コロナ対応の最前線。休祭日問わず365日職員が奮励努力しています。ご苦労様です!

### 喜多浩一プロフィール

昭和45年5月 野町に生まれる  
52年3月 藤蔭幼稚園卒  
58年3月 森山町小学校卒  
(金沢東警察署で少年剣道)  
61年3月 星稜中学校卒  
(剣道部主将)  
平成元年3月 金沢泉丘高校卒  
(剣道部主将)  
9年3月 早稲田大学卒  
9年4月 今村証券株式会社入社  
23年1月 // 退社

平成23年4月 金沢市議会議員選挙に初当選  
27年4月 金沢市議選挙で2期目の当選  
31年4月 金沢市議選挙で3期目の当選  
令和2年3月 第123代金沢市議会副議長  
に就任 (同年9月退任)

金沢市泉本町に在住

資格 証券アナリスト・ファイナンシャルプランナー

国家試験合格 行政書士・宅地建物取引士

家族 妻、長男(米東ドジャース→石川中央ボーイズ→  
金沢泉丘高校野球部)、次男

### ご意見などございましたら お気軽に・・・

〒920-8577 金沢市広坂1-1-1  
金沢市役所6F  
会派控室  
まで



フェイスブックで情報を発信  
しています。ぜひアクセスを  
お願いします!



# 令和4年6月定例月議会での主な一般質問と答弁の要約

## 金沢市のトップとしての意気込みや熱意について

(喜多浩一)

石川県の県都である金沢の市長は単なる石川県市長会の会長というだけでなく、真に石川県全体の市町を引っ張っていくリーダー的存在にならなければなりません。そしてひいては石川県知事にも勝るとも劣らない影響力と知名度を持たなければならないと私は考えます。石川県内の首長で官僚出身者は村山市長しかいません。国との独特のパイプと経験を生かし、県内すべての市町を先導する存在になっていただきたいのです。金沢市民も大いに期待していると思います。改めて金沢市のトップとしての意気込みや熱意をお聞かせ願うとともに、村山カラーとは何なのかお聞かせ願います。

(村山市長)

私が歴代の市長と異なる点は国や地方行政に職員として携わってきた経験、そして金沢を内と外から見ることができる点である。こうした特徴を生かして、未来を見据えた金沢のまちづくるとあらゆる世代にわたる市民の幸せのために、市政に全力で取り組んでいきたい。

## 片町の再開発について

(喜多浩一)

片町の再開発を行うため片町きららが開業したのが2015年9月。今年で早7年目を迎えようとしています。再開発の第2弾となる片町きらら横の片町1丁目交差点から、香林坊スクエア横の香林坊交差点までの約100メートル間の海側ブロック区域約0.4ヘクタールの再開発の時期やその内容、費用、今後のスケジュールなどをお聞かせ願います。

(村山市長)

今年度は再開発事業の都市計画決定を行い、次年度には具体的な内容を定める事業計画の策定や基本設計を予定している。その後順調に進めば、実施設計を経て建築工事に着手する。コロナ禍の影響で不確定要素が多くあり、具体的な事業費や実施時期については事業計画の中で明らかにしていきたい。

## 自治体連携について

(喜多浩一)

人口減少や財政事情を考えれば、県とだけでなく市町が連携して課題解決に取り組んでいくことは必

要不可欠と考えます。金沢市は白山市、かほく市、野々市市、津幡町、内灘町との4市2町からなる連携中枢都市圏を形成していますが、これから自治体連携において取り組みを強化していく予定の政策について具体的にお答え願います。さらに4市2町の連携中枢都市圏を超えた連携についても現時点での考えをお聞かせ願います。

(村山市長)

地域公共交通計画の検討に着手しており、連携を密にして広域的な今後の在り方を議論していきたい。また、北陸新幹線敦賀開業を控え、県内外の都市とも連携を深めていきたい。

### 「加賀友禅燈ろう流し」 金大生ら学ぶ



6月3日に浅野川で開かれる伝統行事「加賀友禅燈ろう流し」の歴史を大学生が学ぶ催しが21日、金沢市里見町の「茜やアーカイブギャラリー」であった。

燈ろう流しと、浅野川でそれぞれ開かれる「鯉流し」「笹流し」の保存継承を目指す地域住民らの「浅野川三流し実行委員会」が主催。若者に金沢の歴史や文化などを知ってもらおう場にと、金沢大生と「三流しAcademy」を創設した。この日は、街や文化を学ぶ企画の2回目で、約10人が参加した。

加賀友禅を手掛ける「奥田染色」の奥田勝将社長(84)が、金沢の風土や気候から生まれたという独特の技法「虫食い」を挙げ、京友禅との違いを説明。染色後の反物についたのりを洗い流す「友禅流し」について、かつては浅野川の風物詩だったことも紹介した。奥田社長は「伝統は残さなきゃいけないけど、ほっといても残る物を作らなくては」と語った。

金沢大地域創造学類2年の沖野菜さん(20)は、「『良い物は残る』との言葉が印象に残った。でも今の世の中はいい物でもなくなりがねないので、守っていかないと」と話した。(古谷祥子)

### フリーマン財団が支援 「旧森紙店」の保存・活用へ

金沢市は、24日に開かれた市議会文教消防常任委員会で、米田とデシヤの国際交流などを支援しているフリーマン財団がフリーマン・モニュメント財団(WMF)を通じて、市指定保存建築物「旧森紙店」(野町1丁目)の保存・活用事業を支援することが決まったと発表された。


旧森紙店は江戸末期に建てられた町家で、主屋が石製で板葺き屋根木造2階建て延べ234・83平方メートル、土蔵が瓦葺き瓦葺き2階建て延べ96・03平方メートル(昭和1983)。

フリーマン財団は58年に市の保存建築物の第1号に指定された。フリーマン財団はWMFと協定を結び、今後4年間、活用・保全に対する財政的支援を行う。支援金額は約2000万円。市は今後、市内プロジェクトを構成し、年度内をめどに保存活用方針を決定するとしている。

- 北陸中日新聞 (5月22日号)
- 建設工業新聞 (5月25日号) ▲
- 北陸中日新聞 (8月3日号) ▼

### 初の議場 ドキドキ

#### 児童が金沢市議会見学



金沢市議会による子ども議会教室が21日、金沢市役所であり、市内の小学五、六年生の児童十二人が議場を見学した。子どもたちは議会の仕組みを座学で学んだ後、市議に案内してもらいながら議院内を探検。委員会室では、「今の金沢のために金沢市が取っている施策は」「少子化のために金沢市が取っている施策は」などと質問をして、議員になりきった。

中央小六年の大谷栢樹君(こ)は「初めて入った議場は、緊張感が張り詰めていてドキドキした。議会も機会があれば傍聴してみたい」と話した。

教室は議会に興味を持ってもらうおうと、二〇一七年から実施。新型コロナウイルスの影響で、対面形式での実施は三年ぶり。四日にも開かれる。(小川祥)